

企業情報

[HOME](#) > [企業情報](#) > [BIPROGYの企業活動](#) > [広告宣伝活動](#) > [BIPROGYバドミントンチーム](#) > [feature](#) > [女子チーム](#) > vol.5

BIPROGYバドミントンチーム

ニュース

選手・スタッフ紹介

試合結果

チームについて

ツイート

いいね！ 0

feature vol.5



日本ユニシスが、日本リーグ1部へ王手をかけた。

日本リーグ2部に初参戦のユニシスは、3日間で7試合という過酷な団体戦で全勝優勝。いま開催中の1部リーグの最下位チームと、来年1月31日に1部昇格をかけて争うことになった。ここで勝利すれば、創部から3年目で1部というスピード昇格を果たすことになる。なお2部リーグの殊勲選手賞は、シングルスで3戦全勝の平山優が獲得した。

野尻野匡世が、チャンスボールを相手コートにたたき込む。TEAM神奈川の遠藤なお美は一步も動けず、これで21対12。ユニシスの7戦全勝が、そして2部リーグ優勝が決まった瞬間だ。

11月23日、午後1時25分。別のコートでは、ライバル・広島ガスの第1ダブルスが始まったばかりだった。

ベンチ全員がコートに入り、優勝を決めた野尻野を祝福する。肩を組んで輪を作り、その場で小刻みにジャンプすると、駆けつけたサポーターの観客席が大いに沸いた。



日本リーグ2部。ユニシスは今年2月のチャレンジリーグを圧勝し、2部との入替戦でも力を見せつけて昇格していた。平山、野尻野、栗原文音といった元・現ナショナルメンバー、打田しづか、高橋礼華のナショナル候補といった豪華布陣から、当然といえる結果だった。

ただ、07年7月に創部したチームにとって、団体戦のスタートは決して満帆ではなかった。

08年の全日本実業団選手権は、予選リーグで敗退。エース・平山をクガで欠き、1部リーグの七十七銀行が相手だったとはいえ、優勝争いの台風の目と見られていただけにショックは大きかったはずだ。

だが、今シーズン。元インドネシア代表のリオニー・マイナキーをダブルスコーチに迎えたチームは、一段とバージョンアップしていた。

6月に行われた全日本実業団。日本リーグ1部の岐阜トリッキーパンダースを接戦で下すなどして予選を突破すると、本選でもヨネックス、NTT東日本という1部の上位常連を倒してベスト4に進出。女王・三洋電機との一戦は、接戦で惜敗したものの、第3シングルスまでもつれる展開で3位に輝いている。

「1部のチームにも十分通用することがわかりました。これまでやってきたことは間違いじゃなかったという自信になった」(平山主将)のだ。



HOME

ソリューション

事例紹介

サステナビリティ

株主・投資家情報

企業情報

採用情報

お問い合わせ



そして、2部リーグ。

複・単・複の団体戦を、3日間で7試合行うというスケジュールだ。過酷。高校生のインターハイのみである。

いや、「トーナメント戦と違い、すべての試合が強敵。1部を日本のベスト8とすれば、2部はベスト16の激突でしょう。しかもマッチ率が順位にからんでくるため1ゲームも気を抜かず、なにが起こるかかわからない」と、2部の過酷さを語る選手がいるほどだ。

選手にかかるプレッシャーは大きいかもしれない。しかも、今季1部リーグに昇格した岐阜トリバンは、1部でも上位をうかがう勢い。つまり2部といっても、1部にひけを取らないレベルなのだ。

そんななかで、精神や肉体の消耗度、負担を分散するには、どのようなオーダーを組むかがひとつのポイントになる。



ユニシスにとっての強みは、選手層の厚さだった。内定選手を含めて10名というのは、ライバル・広島ガスの選手数と同じだが、シングルスには平山、野尻野、打田がいて、金森裕子／浅原さゆり、高橋／松友美佐紀、王栄／栗原のダブルス勢は「どのペアが出て変わらない」(岩脇峰生コーチ)力がある。

さらに、9月下旬からの3週間にわたるインドネシア合宿、リーグ前の1週間の合宿で結束が強まった。

清水文武ヘッドコーチはいう。

「このチームはナショナルメンバーも多く、それぞれが遠征に出たりして、全員がそろって練習するという機会があまりないんです。ですから、2回の合宿はとても貴重でした。充実した練習ができ、全員調子もいいんです」。金森の左肩痛、打田の右足首痛などはあるが、まずは万全のコンディションでリーグを迎えたといってもいい。



初日。前回2部リーグ3位、4位の日立化成、JR北海道との対戦だ。

日立化成との初戦、第1ダブルスは、高橋／松友の起用だ。

緊張するスタート。内定選手の松友はまだ高校生(聖ウルスラ学院英智高)のため、「ペアとしてはちょっと練習不足」(高橋)なのは否めない。



HOME

ソリューション

事例紹介

サステナビリティ

株主・投資家情報

企業情報

採用情報

お問い合わせ



それでも今年大阪国際、ベルギー国際で優勝している有望ペアだ。落ち着いて松友の実業団デビューを飾ると、JR北海道戦では、打田が永野陽子から初白星を記録。いずれも3対0で完勝と、上々のスタートを切った。



2日目の初戦は、最大の山場・広島ガス戦。1部リーグからは陥落したが、今年の実業団では3位に入っている相手だけに1部復帰にける思いは強い。

むろんユニシスも「最短での1部昇格」(平山主将)を狙う。この試合を制したほうが優勝に大きく前進する、大一番だ。

ユニシス、広島ガス応援団の声援が交錯して、第1ダブルスは高橋/松友。だが実力者・日野由希江/小池温子に競りながらも、勝負どころで抜け出された。勝利にリーチをかけてわく広島ガスに対し、ユニシスにはあともない。

だがここでエース・平山が、全日本社会人8強の後藤舞をキレイのいいカットで一蹴。16本13本と危なげないストレート勝ちで押し戻した。



平山がいう。「もう、個人戦とはまったく違います。私が負けたら終わりですから、めちゃくちゃ緊張しましたよ。ただ、これは想像しちゃいけないのですが、ダブルスが負けて私に回ってくることもありうる、と思って準備はしていました。だから攻撃的にプレーできたのかもしれない」。



ユニシスでは今シーズンから、節目の大会前に、専門の講師を招いてメンタルトレーニングを行っている。「効果がすぐに目に見えるとは限りませんが、いつかは自分を支えてくれるものになるはず。私からはみんな、ずいぶんプラス思考になってきたと思いますね」というのは清水ヘッドコーチの分析だ。

平山がタイに押し戻したあとは、玉栄/栗原のダブルス。シングルスでナショナル入りしている栗原だが、「3日で7試



HOME

ソリューション

事例紹介

サステナビリティ

株主・投資家情報

企業情報

採用情報

お問い合わせ

合するためには、ダブルスが3組必要。それには、器用な栗原がいい」という清水ヘッドコーチの判断で、ここ1カ月ほどはダブルスに絞った練習をしてきた。もともと、9月末のビットブルガーOPでベスト4に入る(平山とのペア)など、ダブルスにも非凡なものがある。堅実な王業に引っ張られ、レシーブも格段に向上した。



広島ガス・早川由希子/橋本麻衣子に1ゲーム目は11オールと競ったが、ここから9連続得点でイッキに抜け出すと、2ゲーム目はわずか8点に抑え込んでのストレート勝ち。ダブルスを1つ取られてからの逆転で大きな勝利をものにし、ユニシスはライバルに白星ひとつの差をつけた。



続く第4戦もユニシスは、前年2位の三洋電機CEを撃破して白星街道を走る。

ここでは、08年の全日本社会人女王・野尻野をシングルスに起用し、野尻野は貫禄で田中妙美恵に圧勝。

2月末にアキレス腱断裂の大ケガがあり、復帰戦は9月の全日本社会人。ここでは初戦敗退したため、これが復帰後初勝利ということになった。

「9月の段階では、いいときを10としたらまだ7か8でしたが、このリーグでは10近くまで戻っています」と、その表情も明るい。



この後はトヨタ自動車、そして3日目には百十四銀行、TEAM神奈川と、絶対値からいってまずは負けることは考えにくい相手だ。

事実、3試合とも失ゲームゼロのストレート勝ちで、冒頭の優勝決定シーンにつながっていく。7戦全勝。

内訳は——ダブルスでは高橋/松友、王業/栗原がともに4勝1敗、金森/浅原が4戦全勝。



HOME

ソリューション

事例紹介

サステナビリティ

株主・投資家情報

企業情報

採用情報

お問い合わせ



シングルスは平山3勝、野尻野と打田が2勝ずつ。ベンチでサポートした内定選手の江淵愛美を含め、10名全員で勝ち取った完全優勝だ。
ユニシスにとって、記念すべき国内初の公式戦(東京都実業団春季リーグ戦・08年5月18日)から、ちょうど550日目のことだった。

「一丸となって、みんなの力でここまでこれた。それが勝因」と清水ヘッドコーチがいえば、「このチームは、まとまりがすごくあると思う。創部からのメンバーがほとんど、ということもあるでしょう。このメンバーで、早く1部で戦いたい」と平山主将。

そして、こう付け加えた。

「2部リーグは3日間で7試合。自信はありましたが、正直、ホントにきつかった。もうやりたくありません」。

ということは……1部昇格しかない。入替戦は、1月31日である。

Text : Nobuyuki Yo

- [feature vol.6 日本リーグ1部昇格への道 後編 >](#)

[feature backnumber](#)

[チームについて](#) [選手・スタッフ紹介](#) [試合結果](#) [ニュース](#) [ルール解説](#) [LINK](#) [お問い合わせ](#)

企業情報

BIPROGYについて

[トップメッセージ](#)

[会社概要](#)

[Vision2030・経営方針 \(2021~2023\)](#)

[コーポレートブランド](#)

[グループ会社](#)

[拠点所在地](#)

[組織図](#)

[役員一覧](#)

[企業理念](#)

[企業行動憲章](#)

[調達・購買に関する指針等について](#)

[BIPROGYグループの歴史](#)

[ニュースリリース](#)

[株主・投資家情報](#)

[採用情報](#)

BIPROGYの企業活動

[サステナビリティ](#)

[広告宣伝活動](#)

[セミナー/イベント](#)

[出版物](#)

[デジタルメディア BIPROGY TERASU](#)

[実業団バドミントン部](#)

[BIPROGYグループアンバサダー](#)

[東京デイズニerland「エレクトリカルパレード・ドリームライツ」](#)

[東京デイズニシー「フォートレス・エクスプロレーション」](#)

BIPROGYの研究活動

[BIPROGY総合技術研究所](#)

[Technology Foresight](#)

[技術論文BIPROGY技報](#)

[BIPROGY研究会](#)

[ご利用にあたって >](#)

[個人情報保護について >](#)

[情報セキュリティ基本方針 >](#)

[ソーシャルメディアポリシー >](#)

[サイトマップ >](#)



Copyright © 2023 BIPROGY Inc. All rights reserved.



TOP